

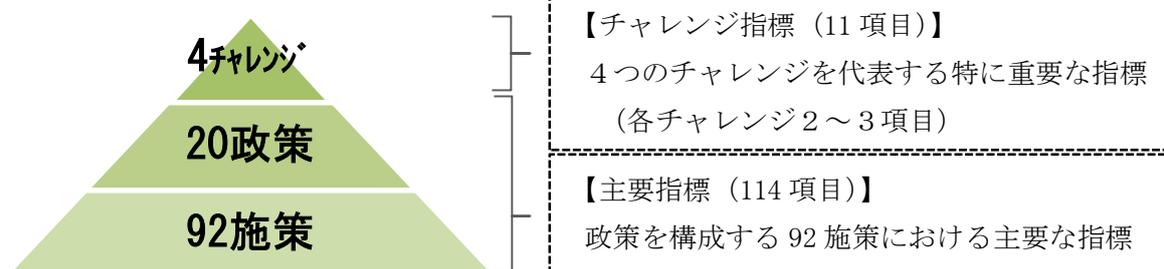
令和 3 年 1 月 1 5 日
茨 城 県

2020 年度（2019 年度分） 県総合計画（第 3 部）政策・施策に係る進捗状況について

1 政策体系と数値目標について

政策・施策の目指すべき水準をわかりやすく示すため、合計 125 項目の数値目標（チャレンジ指標 11 項目、主要指標 114 項目）を設定し、政策・施策の成果等を毎年度分析・評価する基準とするとともに、施策の改善にも活用します。

【政策体系及び数値目標】



2 施策の評価方法及び政策の進捗状況の区分方法について

（1）92 施策の評価

「主要指標」の達成率から、「A」「B」「C」「D」の 4 段階で評価します。

A	達成率 100%以上	C	達成率 50%～75%未満
B	達成率 75%～99%	D	達成率 50%未満

なお、一つの施策に主要指標が複数ある場合には、達成率の平均値により評価します。また、複数年度ごとに更新されるなど、更新がない場合は、評価保留とするか、定性評価で評価します。

※分かりやすくする観点から、昨年度の区分<A (100%以上)、B + (80%～99%)、B (50%～79%)、C (50%未満)>から変更

（2）20 政策の進捗状況

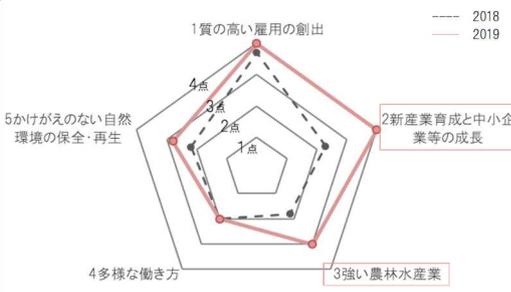
政策を構成する施策評価結果を数値化（A:4点、B:3点、C:2点、D:1点）し、その平均値により進捗状況を「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の 3 段階に分類します。

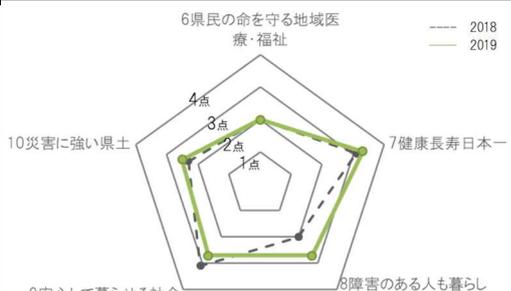
結果	施策評価の平均値
 順調である	4.0 点 ～ 3.0 点
 成果をあげつつある	2.99 点 ～ 2.0 点
 取組の強化が求められる	1.99 点 ～ 1.0 点

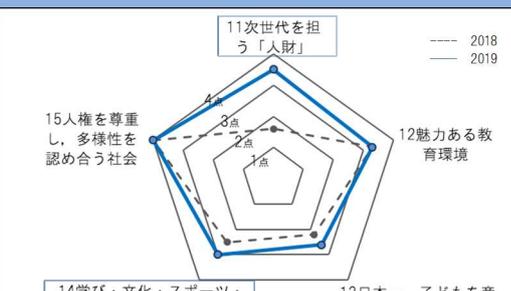
3 政策の進捗状況の結果について（総括）

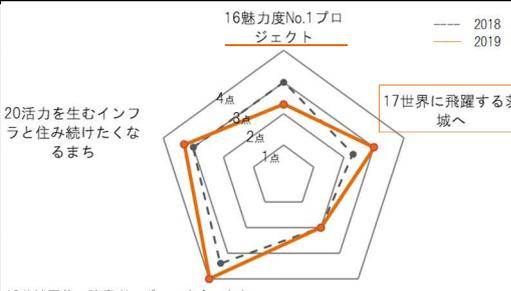
- 2019年度における20政策の進捗状況について、2018年度に「取組の強化が求められる」とされた2政策が進捗し、「順調である」が11政策、「成果をあげつつある」が9政策となった。

区分	2018	2019	増減	備考
 「順調である」	8	11	+3	☆新たに「順調である」とされた政策：5政策 ・2 新産業育成と中小企業等の成長 ↑ ・3 強い農林水産業 ↑↑ ・11 次世代を担う「人財」 ↑↑ ・14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城 ↑ ・17 世界に飛躍する茨城へ ↑ ★進捗状況を1段階下げた政策：2政策 （「順調である」→「成果をあげつつある」） ・9 安心して暮らせる社会 ↓ ・16 魅力度No.1プロジェクト ↓
 「成果をあげつつある」	10	9	▲1	
 「取組の強化が求められる」	2	—	▲2	

新しい豊かさ				
区分	2018	2019	増減	
 「順調である」	1	3	+2	
 「成果をあげつつある」	3	2	▲1	
 「取組の強化が求められる」	1	—	▲1	

新しい安心安全				
区分	2018	2019	増減	
 「順調である」	2	1	▲1	
 「成果をあげつつある」	3	4	+1	
 「取組の強化が求められる」	—	—	—	

新しい人財育成				
区分	2018	2019	増減	
 「順調である」	2	4	+2	
 「成果をあげつつある」	2	1	▲1	
 「取組の強化が求められる」	1	—	▲1	

新しい夢・希望				
区分	2018	2019	増減	
 「順調である」	3	3	—	
 「成果をあげつつある」	2	2	—	
 「取組の強化が求められる」	—	—	—	

※四角囲みをした政策は、2018年度より進捗状況が改善。また、下線を付した政策は、2018年度より進捗状況が悪化。

参考 新型コロナウイルスの影響を受けた主要指標の考え方について

①2019 年度分進捗評価における考え方

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大による実績減などの影響を受けた指標については、通常の達成率と併せ、各指標毎にコロナの影響がある期間を設定し、当該期間分の数値を期待値及び実績値から控除した達成率についても算出し、コロナの影響を控除した評価を実施

※対象指標：2020.3 までを期間とする指標（87 指標）

※影響指標：外出自粛要請による人の移動の制限や、イベント等の開催中止など、コロナの影響が明確に確認できた 6 指標

影響指標	影響の概要
No. 22 地域や地域の人々と多様に関わる「関係人口」の数（経年累計）	3 月イベントの開催自粛に伴う実績減
No. 46 コミュニティ交通の利用者数	3 月県民の外出意欲の減退に伴う実績減
No. 64 全国高等学校総合体育大会等での優勝数	3 月選抜大会の中止
No. 86 県が提供する文化の鑑賞等の機会への参加者数	3 月イベントの開催自粛に伴う実績減
No. 99 海外からの観光ツアー催行数	1 月下旬以降の中国でのツアー販売禁止、他国でのツアーキャンセル増加に伴う実績減
No. 100 茨城空港の旅客数 (再掲：No. 110)	2 月上旬から中国便、3 月下旬から台北便の全便運休に伴う実績減

②2020 年度分の進捗評価における考え方

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け 2020 年度実績が減少している指標が複数確認されているが、今まで以上にスピード感を持ちながら「新しい生活様式」に対応した新たな施策を展開するなど、原則として現在設定している目標の達成に向けて取り組みを進めていく。

4 チャレンジ指標の進捗状況について（総括）

- ・2019 年度におけるチャレンジ指標の進捗状況については、「期待値より進捗」が 3 指標、「現状値より進捗」が 3 指標、「横ばい」が 2 指標、「現状値より悪化」が 2 指標、「評価保留」が 3 指標となります。

区分	該当指標数・指標名	
期待値より進捗 	3 (2)	①1 人あたり県民所得（全国順位）、②雇用創出数(期間累計)、 ⑩農林水産物及び工業製品等の輸出額
現状値より進捗 	3 (1)	④医師数（※2018 年度は評価保留）、⑦生徒の英語力(高校)、⑦生徒の英語力(中 学)
横ばい 	2 (2)	⑥子どものチャレンジ意欲、⑧県民が希望する子どもの数と実際の子どもの数の差
現状値より悪化 	2 (4)	③生産農業所得(販売農家 1 戸あたり)、⑩観光消費額
評価保留 	3 (4)	⑤健康寿命（男）、⑤健康寿命（女）、⑨企業経営者が考える成長期待度、
計	13	

※指標数の括弧内は 2018 年度。

※四角囲みをした指標は、2018 年度より進捗状況が改善。また、下線を付した指標は、2018 年度より進捗状況が悪化。

※チャレンジ指標は 11 項目であるが、「⑤健康寿命」が男女別の数値となっており、また、「⑦生徒の英語力」が中学・高校別の数値となっていることから、13 項目により整理。

※「評価保留」：指標が複数年度ごとに更新されるなど、数値の更新がない場合。

II. 新しい安心安全	政策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	現状値		実績(2019)				参考		目標値
	区分	指標平均値					2017	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2019 指標評価	2018 指標評価	2021	
															2018 平均値
6 県民の命を守る地域医療・福祉															
(1) 医師不足緊急対策	 成果をあげつつある 2.0 2018平均値 2.0	B	30	医師数	人	5,513 (2016)	46 (10万人あたり)	5,682 (2018)	46	5,729 (2018)	78%	B	—	6,160	
(2) 医療・福祉人材確保対策		A	31	特定看護師数	人	35	11 (10万人あたり)	63 (2018)	7 (10万人あたり)	60 (2018)	112%	A	指標変更	140	
(3) 医療提供体制・地域保健の充実		D	32	介護職員数	人	34,959 (2016)	—	38,533 (2018)	—	38,444 (2018)	103%	A	A	43,122	
(4) がん対策		D	33	救急要請から医療機関への搬送までに要した時間	分	42.7 (2016)	40	43.2 (2018)	41	39.5 (2018)	0%	D	D	全国平均以下	
(5) 精神保健対策・自殺対策		D	34	がん検診受診率	%	44.9 (2016)	22	46.4 (2019)	30	50.0 (2019)	29%	D	—	50.0	
		D	35	自殺者数(人口10万人あたり)	人	17.1 (2016)	22	17.0 (2018)	13	16.7 (2018)	25%	D	D	16.2以下 (2020)	
7 健康長寿日本一															
(1) 在宅医療・介護の支援	 順調である 3.3 2018平均値 3.3	A	36	訪問診療を実施している診療所・病院数	箇所	360 (2015)	36 (10万人あたり)	401	—	396	114%	A	A	414 (2020)	
(2) 地域包括ケアシステムの構築		A	37	地域ケア会議における困難事例の支援開始割合	%	74.6 (2018)	—	90.0	—	83.1	181%	A	指標変更	100	
(3) 認知症対策の強化		A	38	認知症サポーター養成人数(経年累計)	人	201,567	37 (総人口に占める割合)	267,261	33	256,000	121%	A	A	284,300 (2020)	
(4) 高齢者の能力活用と就労支援		—	39	高齢者有業率	%	38.2	30	—	次回公表は2022実績	38.4	—	—	—	38.5	
(5) 人生百年時代を見据えた健康づくり		D	40	シルバーリハビリ体操指導士養成数(経年累計)	人	8,312	—	9,236	—	10,281	47%	D	C	11,000 (2020)	
		D	41	特定保健指導対象者数の割合(40~74歳)(男女)	%	男性:25.3 女性:9.7 (2015)	男性:41 女性:43	男性:25.8 女性:10.3 (2017)	男性:42 女性:43	男性:24.3 女性:9.3 (2017)	男性:0% 女性:0%	D	D	男性:22.8 女性:8.7	
8 障害のある人も暮らしやすい社会															
(1) 特別支援教育等の充実	 成果をあげつつある 2.7 2018平均値 2.0	A	42	障害児に対する個別的教育支援計画の作成率(公立幼稚園)	%	66.7	32	85.1	—	73.9	256%	A	A	81.1	
(2) 障害者の自立と社会参加の促進		D	43	精神病床に在院期間1年以上の長期在院する精神障害者数	人	3,905	—	3,758	—	3,445	32%	D	D	3,177 (2020)	
(3) 障害者の就労機会の拡大		B	44	就労継続支援B型事業所における月額平均工賃	円	13,198	45 (2016)	14,338	—	14,340	100%	A	—	15,480	
		D	45	民間企業における障害者雇用率	%	1.97	32	2.14	31	2.23	65%	C	D	2.30	
9 安心して暮らせる社会															
(1) 地域公共交通の維持確保	 成果をあげつつある 2.7 2018平均値 3.1	B	46	コミュニティ交通の利用者数	万人	308 【282】 (2016)	—	312 【292】	—	320 【293】	33% 【91%】	D 【B】	A	323	
(2) 治安対策の強化		D	47	住んでいる地域の治安が良いと感じている県民の割合	%	42.7	—	40.7	—	46.0	0%	D	A	50.0以上	
(3) 交通安全対策の推進		A	48	交通事故死者数	人	143	38	107	39	120以下	157%	A	B	120以下	
(4) 消費生活と食の安全確保		A	49	食に対する不安を感じない県民の割合	%	39.9	—	50.8	—	45	214%	A	A	50.0以上	
		D	50	市町村消費生活センター等における消費生活相談の受付割合	%	79.4	9	78.9	— 2020.11公表	83.4	0%	D	C	85.0	
(5) 地域の力を高めるコミュニティづくり		D	51	NPO法人認証件数(経年累計)	件	838	46 (10万人あたり)	845	45	910	10%	D	D	983	
(6) 犬猫殺処分ゼロの実現		A	52	犬猫の殺処分数	頭	545	—	0	—	0	100%	A	A	0	
(7) 安心で安全な上下水道の整備	C	53	水道普及率	%	94.4 (2016)	36	94.7 (2018)	36	97.2 (2018)	11%	D	D	100.0		
	D	54	汚水処理人口普及率	%	84.0	31	85.6	—	85.7	94%	B	B	87.4		
10 災害に強い県土															
(1) 防災意識の高揚と地域防災活動の支援・充実	 成果をあげつつある 2.5 2018平均値 2.3	D	55	自主防災組織の活動カバー率	%	80.8	34	83.4	34	88.7	33%	D	D	90.0	
			56	消防団員数の充足率	%	91.6	31	88.5	42	93.7	0%	D	D	94.0	
(2) 災害に備えた体制づくり		A	57	市町村のBCP策定率	%	56.8	27	100	1	86.4	146%	A	A	100.0	
(3) 危機に強いライフラインの整備		C	58	公共施設等の個別施設計画(長寿命化計画)策定割合	%	53.8	—	73.1	—	84.6	63%	C	D	100.0	
		A	59	河川改修率	%	57.6	—	57.9	—	57.9	100%	A	A	58.2	
(4) 治山治水対策の強化		A	60	土砂災害防止施設の整備率	%	24.1	—	24.4	—	24.3	150%	A	A	24.5	
(5) 原子力安全対策の徹底	D	61	原子力施設における事故・故障等の発生件数ゼロ(法令報告に該当するもの)	件	1 (2018)	—	1	—	0	0%	D	D	0		
(6) 危機管理体制の充実	B	62	市町村の国民保護に係る避難実施要領の複数パターン作成率	%	61.4	—	77.3	—	81.8	78%	B	B	100.0		

※1 2019年度の実績数値は、概ね2020年8月までに公表された数値を掲示

※2 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標については、コロナ影響分を控除して評価を実施(【】がコロナ影響控除数値)

チャレンジII「政策」の進捗状況 ・「順調である」 : 1 ・「成果をあげつつある」 : 4 ・「取組の強化が求められる」 : —	施策評価結果(チャレンジII)						主要指標評価結果(チャレンジII)					
	A	B	C	D	評価保留	計	A	B	C	D	評価保留	計
	10	4	2	9	1	26	13	4	2	13	1	33
(38.5%)	(15.4%)	(7.7%)	(34.6%)	(3.8%)	(100%)	(39.4%)	(12.1%)	(6.1%)	(39.4%)	(3.0%)	(100%)	

Ⅲ. 新しい人財育成	政策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	現状値		実績(2019)					参考 2018 指標評価	目標値 2021
	区分	指標平均値					2017	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2019 指標評価			
11 次世代を担う「人財」															
(1) 「知・徳・体」バランスのとれた教育の推進	 順調である 3.5 2018平均値 1.6	A	63	国語の授業の理解度(中学生)	%	78.4	9	80.6	—	80	138%	A	—	81.4	
(2) 新しい時代に求められる能力の育成			D	64	全国高等学校総合体育大会等での優勝数	種目	3 (2018)	24	5 【4】	24 【23】	5 【3】	100% 【133%】	A 【A】	指標 変更	6
(3) キャリア教育による将来の目標づくり		A	65	全国レベルのプログラミング・コンテスト(中高生向け)の入賞組数	組	2	—	1	—	4	0%	D	D	5	
(4) 青少年の健全育成と若者の自立を支える社会づくり			66	地域や社会をよりよくするための課題解決型学習に取り組んだ生徒の割合	%	5.5 (2018)	—	— 次回公表は2020実績		—	—	—	—	指標 変更	50
(5) 就学前教育・家庭教育の推進		—	67	県立高等学校におけるキャリアノートの活用率	%	—	—	35.4	—	30	118%	A	—	100	
(6) 放課後の子どもの活動支援		A	68	小中義務教育学校における不登校児童生徒が、フリースクール等で相談・指導等を受けている割合	%	69.0 (2018)	—	— 2020.10月頃公表		72.1	—	—	指標 変更	78.3	
(7) 地域力を高める人財育成		A	69	訪問型家庭教育支援に取り組む市町村数	市町村	12 (2018)	—	17	—	17	100%	A	指標 変更	21	
	A	70	放課後児童クラブの実施箇所数	箇所	961 (2018)	—	1,020	—	1,018	104%	A	指標 変更	1,099		
	A	71	生涯学習ボランティア派遣人数	人	3,777	—	3,563	—	4,540	0%	D	C	5,280		
	A	72	若者活動応援サイトへの会員登録者数(経年累計)	人	517 (過去3年の累計)	—	762	—	640	199%	A	B	760		
12 魅力ある教育環境															
(1) ICT教育先進県の表現	 順調である 3.3 2018平均値 3.3	A	73-1	ICTを活用できる生徒の割合(県立高校)	%	38.6 (2018)	—	76.1	—	40	267%	A	指標 変更	60.0	
(2) 正しいメディアとのつきあい方			73-2	情報処理技術者試験の高校生合格者数(期間累計)	人	16 (2018)	—	19	—	25	33%	D	指標 変更	43	
(3) 時代の変化に対応した学校づくり		C	74	通信機器等の利用に関する家族との話し合い実施率	%	48.9 (2016)	—	56.8	—	73.6	32%	D	—	90.0	
(4) 新たなニーズに対応した大学等の誘致や官学連携の推進		B	75	学校におけるメディアに関する講習会の実施率	%	97.8	—	100	—	100	100%	A	D	100.0	
	A	76	主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善に取り組んだ割合(公立小学校)	%	77.0	17	79.5	—	79.6	96%	B	A	82.2		
	A	77	特色ある教育カリキュラムの導入について検討する大学数	校	—	—	1	—	0	100%	A	指標 変更	2		
13 日本一、子どもを産み育てやすい県															
(1) 結婚・出産の希望がかなう社会づくり	 成果をあげつつある 2.6 2018平均値 2.2	C	78	妊娠・出産について満足している者の割合	%	82.1	28 (2016)	— 2021.6月頃公表		83	—	—	A	84	
(2) 安心して子どもを育てられる社会づくり			A	79	いばらき出会いサポートセンター利用者等成婚者数(経年累計)	組	1,930	—	2,230	—	2,500	53%	C	D	2,450
(3) 待機児童ゼロへの挑戦		C	80	放課後児童クラブの実施箇所数(再掲)	箇所	961 (2018)	—	1,020	—	1,018	104%	A	指標 変更	1,099	
(4) 児童虐待対策の推進		A	81	保育所等の待機児童数	人	386	36	193	34	0	50%	C	D	0	
(5) 誰もが教育を受けることができる社会づくり		—	82	ペアレント・トレーニング開催市町村数	市町村	12	—	24	—	24	100%	A	A	44	
(6) 困難を抱える子どもへの支援		D	83	小中義務教育学校における不登校児童生徒が、フリースクール等で相談・指導等を受けている割合(再掲)	%	69.0 (2018)	—	— 2020.10月頃公表		72.1	—	—	指標 変更	78.3	
	D	84	母子家庭等就業・自立支援センターの職業紹介による就職件数	件/年	17	—	19	—	40	9%	D	D	40 (2019)		
14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城															
(1) 生涯にわたる学びのすすめ	 順調である 3.0 2018平均値 2.5	D	85	県内公立図書館の入館者数	千人	8,477 (2018)	—	8,061	—	8,522	0%	D	指標 変更	8,612	
(2) 心豊かにする文化・芸術		A	86	県が提供する文化の鑑賞等の機会への参加者数	千人	1,051 【963】 (2018)	—	1,007 【971】	—	1,056 【968】	0% 【160%】	D 【A】	指標 変更	1,067	
(3) 「する・見る・支える」スポーツの支援		—	87	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	34.7 (2016)	—	— 次回公表は2020実績		53.6	—	—	A	60.7	
(4) 遊びある楽しい生活スタイル		A	88	都市計画区域人口1人あたり都市公園面積	m ² /人	9.56 (2016)	36	9.87 (2018)	36	9.74 (2018)	172%	A	A	10.00	
15 人権を尊重し、多様性を認め合う社会															
(1) 誰もが能力を発揮できる社会	 順調である 4.0 2018平均値 4.0	A	89	多文化共生サポーターバンクへの新規登録者数(経年累計)	人	520	—	843	—	600	404%	A	A	800	
(2) ダイバーシティ社会へ向けて		—	90	人権は大切であると感じている県民の割合	%	90.6 (2016)	—	— 次回公表は2020実績		93.0	—	—	—	95.0	
(3) 一人ひとりが尊重される社会づくり		—	91	いじめを受けた児童生徒が、誰にも相談していない状況にある件数	件	958 (2018)	—	— 2020.10月頃公表		868	—	—	指標 変更	689	
(4) いじめを生まない社会づくり		—													

※1 2019年度の実績数値は、概ね2020年8月までに公表された数値を掲示

※2 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標については、コロナ影響分を控除して評価を実施(【】がコロナ影響控除数値)

チャレンジⅢ「政策」の進捗状況 ・「順調である」 : 4 ・「成果をあげつつある」 : 1 ・「取組の強化が求められる」 : —	施策評価結果(チャレンジⅢ)						主要指標評価結果(チャレンジⅢ)					
	A	B	C	D	評価保留	計	A	B	C	D	評価保留	計
	12	1	3	3	6	25	14	1	2	6	7	30
	(48.0%)	(4.0%)	(12.0%)	(12.0%)	(24.0%)	(100%)	(46.7%)	(3.3%)	(6.7%)	(20.0%)	(23.3%)	(100%)

IV. 新しい夢・希望	政策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	現状値		実績(2019)				参考 2018 指標評価	目標値 2021			
	区分	指標平均値					2017	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2019 指標評価					
16 魅力度No.1プロジェクト																	
(1) 魅力発信国内戦略		成果をあげつつある	2.3	2018平均値 3.0	A	92	本県情報のメディアへの掲載による広告換算額	億円	71	—	123	—	98	193%	A	A	140
(2) 魅力発信グローバル戦略					D	93	外国人延べ宿泊者数	人泊	230,690	35	217,410	38	291,000	0%	D	A	389,900
(3) 積極的なトップセールス					B	94	県産品の県内認知度	%	—	—	41.2	—	43	96%	B	B	50
(4) 県民総「茨城大好き！」計画					D	95	茨城県に「愛着を持つ」県民の割合	%	83.3	—	77.5	—	86.0	0%	D	D	90.0
17 世界に飛躍する茨城へ																	
(1) 世界に広がるメイドインIBARAKI		順調である	3.0	2018平均値 2.3	A	96	県の支援により成約した輸出商談件数	件/年	38	—	94	—	50	467%	A	A	50
(2) 活発なグローバル交流					D	97	県内における国際会議の開催件数	件/年	53 (2016)	12	50 (2018)	12	87 (2018)	0%	D	指標変更	120 (2020)
(3) 茨城シリコンバレー構想					A	98	1億円以上の資金調達をしたベンチャー企業数(経年累計)(再掲)	社	4 (2018)	—	9	—	6	250%	A	指標変更	10
18 ビジツ茨城 ～新観光創生～																	
(1) 旺盛なインバウンドの取込み		成果をあげつつある	2.0	2018平均値 2.0	A	99	海外からの観光ツアー催行数	ツアー	3,442 【2,868】 (2018)	—	3,360 【3,259】	—	3,600 【3,000】	0% 【296%】	D 【A】	A	5,000
(2) 新たな観光資源の発掘					D	100	茨城空港の旅客数	千人	681 【567】	39位/ 85空港	776 【698】	—	848 【707】	57% 【94%】	C 【B】	B	944
(3) 新茨城リゾート構想					D	101	観光地点等入込客数(延べ人数)	万人	6,181 (2016)	17位/ 40都道府県	6,443	—	7,695	17%	D	D	8,450
(4) 新茨城リゾート構想	D	102	宿泊観光入込客数(実人数)	万人	534 (2016)	22位/ 41都道府県	491	—	746	0%	D	D	876				
19 茨城国体・障害者スポーツ大会、東京オリンピック・パラリンピックの成功																	
(1) 競技力の向上と障害者スポーツの振興		順調である	4.0	2018平均値 3.4	A	103	第74回国民体育大会における男女総合成績(天皇杯順位)	位	23	23	1	1	1	100%	A	C	1 (2019)
(2) 県民総参加の機運醸成					A	104	運営ボランティア従事者数(国体)	人	—	—	6,723	—	延べ 5,200 (2019)	129%	A	A	延べ 5,200 (2019)
(3) 成功に導く環境整備					—	105	都市ボランティア延べ従事(予定)者数(オリパラ)	人	—	—	—	—	—	—	—	B	2,200
(4) 大規模スポーツイベントを契機とした魅力発信					A	106	第74回国民体育大会文化プログラム登録事業数	事業	—	—	414	—	100 (2019)	414%	A	A	100 (2019)
(5) スポーツを活用した地域振興					A	107	ホストタウン交流事業に取り組む市町村数	市町村	9	6	16	4	13	175%	A	A	15
20 活力を生むインフラと住み続けたいまち																	
(1) 未来の交通ネットワークの整備		順調である	3.3	2018平均値 3.0	A	108	県管理道路の改良率	%	75.7 (2016)	20	76.8 (2018)	22	75.9 (2018)	550%	A	A	76.3
(2) 空と海のゲートウェイ機能の強化					C	109	重要港湾(茨城港・鹿島港)の取扱貨物量	千ト	94,350	—	95,770	—	98,800	32%	D	D	103,200
(3) 人にやさしいまちづくり					B	110	茨城空港の旅客数(再掲)	千人	681 【567】	39位/ 85空港	776 【698】	—	848 【707】	57% 【94%】	C 【B】	B	944
(4) 魅力あるまちづくり					A	111	立地適正化計画(コンパクトシティ実現に向けた計画)策定市町村数(経年累計)	市町村	2	—	12	—	15	77%	B	C	24
(4) 魅力あるまちづくり	A	112	バリアフリー重点整備地区における県及び市町村管理歩道のバリアフリー化率	%	63.1	—	67.7	—	69.2	75%	B	A	74.3				
(4) 魅力あるまちづくり	A	113	都市計画区域人口1人あたり都市公園面積(再掲)	m ² /人	9.56 (2016)	36	9.87 (2018)	36	9.74 (2018)	172%	A	A	10.00				

※1 2019年度の実績数値は、概ね2020年8月までに公表された数値を掲示

※2 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標については、コロナ影響分を控除して評価を実施(【】がコロナ影響控除数値)

チャレンジIV「政策」の進捗状況 ・「順調である」 : 3 ・「成果をあげつつある」 : 2 ・「取組の強化が求められる」 : 1	施策評価結果(チャレンジIV)						主要指標評価結果(チャレンジIV)					
	A	B	C	D	評価保留	計	A	B	C	D	評価保留	計
	10	2	1	5	1	19	10	5	0	6	1	22
(52.6%)	(10.5%)	(5.3%)	(26.3%)	(5.3%)	(100%)	(45.5%)	(22.7%)	(0.0%)	(27.3%)	(4.5%)	(100%)	

「政策」の進捗状況(合計) ・「順調である」 : 11 ・「成果をあげつつある」 : 9 ・「取組の強化が求められる」 : 1	施策評価結果(合計)						主要指標評価結果(合計)					
	A	B	C	D	評価保留	計	A	B	C	D	評価保留	計
	44	7	7	22	12	92	50	11	7	32	14	114
(47.8%)	(7.6%)	(7.6%)	(23.9%)	(13.0%)	(100.0%)	(43.9%)	(9.6%)	(6.1%)	(28.1%)	(12.3%)	(100%)	

チャレンジ指標の進捗状況について

資料2 別添2

()は全国順位等を表す

4つのチャレンジ	No	指標名	単位	現状値 2017	2018	進捗 状況	2019	進捗 状況	備考	目標値 2021
I 新しい豊かさ	①	1人あたり県民所得 (全国順位)	位	10 [2015] <small>※平成27年度 県民経済計算公表時</small>	期待値 9位以内 実績 10[2016]	➡	9位以内 7位[2017]	➡	・1人あたり県民所得は国民所得を上回る増加率 ※1人あたり県民所得[2015]3,104千円→[2017]3,306千円 (+6.5%) " 国民所得[2015]3,069千円→[2017]3,164千円 (+3.1%)	8位以内
	②	雇用創出数 (期間累計)	人	2,138	期待値 3,000[2017] 実績 2,138[2017]	➡	2,200[2018] 2,467[2018]	➡	・看護職員の就業者数の増及び新規就農者数の増 〔「雇用創出数」の構成内訳〕 ・企業誘致による雇用者増加数・起業による雇用増加数 ・新規就農者・本社機能の移転等による雇用増加数 ・就業看護職員数	8,800 (2018~21累計)
	③	生産農業所得 (販売農家1戸あたり)	万円	373 [2016] (9)	期待値 319[2017] 実績 374[2017] (11)	➡	355[2018] 330[2018] (11)	➡	・農業産出額の減少による生産農業所得の減(全国的に同様の傾向) ※生産農業所得(総額):2,022億円[2016]→1,685億円[2018](△337億円)	500
II 新しい安心安全	④	医師数	人	5,513 [2016] (46)	期待値 - 実績 -	➡	5,729[2018] 5,682[2018]	➡	・寄附講座の設置、地域枠等の修学資金貸与制度等による医師数の増	6,160
	⑤	健康寿命	年	男:72.50 [2016] (9) 女:75.52 [2016] (8)	期待値 - 実績 -	➡	- -	➡	・3年毎公表(次回、2021年3月頃公表予定)	72.92 76.22
III 新しい人材育成	⑥	子どものチャレンジ意欲	%	78.8 (11)	期待値 79.5 実績 77.2(12)	➡	80.2 78.6(9)	➡	・課題解決型授業への積極的改善により全国順位が上昇 ※学習指導要領の改訂(「主体的・対話的で深い学び」の重視等)に伴い、質問文で課題解決に向けた姿勢が強調 (「課題に対して」→「課題解決に向け」)されたため、全国的に数値は減少傾向 全国平均 [2017]74.9%→[2019]74.8%(△0.1ポイント)	81.4
	⑦	生徒の英語力 英検取得(中学:3級, 高校:準2級)又は 相当程度を有すると 思われる生徒の割合	%	中学:43.3 (9)	期待値 48.6 実績 41.6(17)	➡	54 48.3(7)	➡	・英語アセスメントテストの実施により、教員の英語指導力と生徒自身の学習姿勢が改善 ※英検3級取得生徒 [2017]25.9%→[2019]29.4%(+3.5ポイント) " 相当程度を有する生徒 [2017]17.4%→[2019]19.0%(+1.6ポイント)	60.4
				高校:36.2 (35)	期待値 43.1 実績 41.1(18)	➡	50 44.6(18)	➡	・教員の英語力の向上及び英語ディベート大会等による生徒の実践的な英語力の向上 ※本県英語教員の英検準一級等取得割合[2017]62.0%→[2019]77.0% (全国平均) [2017]65.0%→[2019]72.0%	58.0
⑧	県民が希望する子どもの数と 実際の子どもの数の差	人	0.45	期待値 現状より改善 実績 0.46	➡	現状より改善 0.46	➡	・子育てに係る経済面での不安等から、希望する数・実際の数ともに減少 ※県民が希望する子どもの数 [2017]2.49人→[2019]2.47人(△0.02) 実際の子どもの数(予定含む)[2017]2.04人→[2019]2.01人(△0.03)	現状より改善	
IV 新しい夢・希望	⑨	企業経営者が考える成長期待度	%	-	期待値 実績	➡	最高値の更新 70.1	➡	・初回調査(2020年3月) ※県内企業経営者を対象にアンケート調査を実施	最高値の更新
	⑩	観光消費額	億円	2,628 (15/35 都道府県)	期待値 3,215 実績 2,555 ※順位は未公表	➡	3,457 2,487 ※順位は未公表	➡	・台風19号の影響により10-12月期の観光消費額が大幅に減少(対前年同期△268億円) ※観光入込客数(延べ人数)[2018]6,184万人→[2019]6,443万人(+259万人)	3,950
	⑪	農林水産物及び 工業製品等の輸出額	億円	78	期待値 85 実績 100	➡	91 95.6	➡	・米の輸出増により農産物が前年比118%。水産物はサバの漁獲量減等により前年比80%に減少。 加工食品は韓国での不買運動等により前年比77%に減少も、工業製品等は前年比201%に増加。 ※農産物輸出額 [2018]5.5億円→[2019]6.4億円(+0.9億円) 水産物輸出額 [2018]67億円→[2019]54億円(△13億円) 加工食品輸出額[2018]16.3億円→[2019]12.7億円(△3.6億円) 工業製品等輸出額[2018]11.2億円→[2019]22.5億円(+11.3億円)	104

(凡例) 進捗状況について : 期待値より進捗 : 現状値より進捗 : 横ばい : 現状値より悪化

20政策の進捗状況及び今後の方向性について

I 「新しい豊かさ」へのチャレンジ 1/2

【構成する政策の進捗状況】 「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3区分で整理

政策名	進捗状況	分析・対応
1 質の高い雇用の創出	 順調である	<p>☆「成長分野等の企業誘致」、「工業団地への企業立地」については期待どおりの成果をあげており、さらなる雇用の創出に向け、業界や企業の動向等を分析のうえ、ターゲット企業を絞り込むなど、最新のデータに基づき営業戦略を見直し、戦略的に企業誘致等を推進していく。</p> <p>【主要指標等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■本社機能移転に伴う県外からの移転者・新規採用者数(期間累計) 728人 (期待値512人) ■本社機能等の移転等を伴う新規立地件数(期間累計) 89件 (期待値56件) ■工場の立地件数(電気業を除く)(期間累計) 132件 (期待値100件) <p>☆「産業を支える人材の育成・確保」についても期待どおりの成果をあげており、今後とも、産業技術短期大学校や産業技術専門学校における実践的な人材の育成などをおし、成長分野等における人材の確保に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■基本情報技術者試験の茨城県合格者数(期間累計) 1,033人 (期待値989人) <p>その他主な取組成果(2019年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■茨城県外国人材支援センターの設置【新規】(H31.4開設) ■産業技術短期大学校就職者数：36人(14年連続就職率100%達成) ■産業技術専門学院就職者数：148人(就職率99.3%、+1.3ポイント) ■県北地域へのクリエイター、クリエイティブ企業等の進出支援：18事業者(H27からのシェアオフィス等への進出事業者数)
2 新産業育成・中小企業等の成長支援	 順調である	<p>☆「先端技術を取り入れた新産業の育成」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、起業家や投資家等の国内外のスタートアップや人材が集うコミュニティづくり、ビジネスプランのブラッシュアップ支援などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■1億円以上の資金調達をしたベンチャー企業数(経年累計) 9件 (期待値6件) <p>☆「共存共栄できる新しい産業の集積づくり」についても期待どおりの成果をあげており、今後とも、新製品等の開発に結びつくよう、企業と研究機関等の橋渡しや販路開拓、競争的資金獲得の支援の強化などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■産学官連携による新製品等開発件数 87件 (期待値86件) <p>その他主な取組成果(2019年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■創業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談窓口での相談対応：1,250人利用(+74人) ・女性向け起業セミナーの開催：26回、21人受講(+3人) ・学生ビジネスプランコンテストの開催：1回、14件応募 ■事業承継支援 <ul style="list-style-type: none"> ・民間M&A仲介会社との連携協定締結(R1.8) ・金融機関との連携協定締結(R1.6) ・事業承継、M&Aセミナー：7回、202名受講

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。(括弧内に記載の増減に係る数値は、原則として基準年である2017年との比較)

政策名	進捗状況	分析・対応
3強い農林水産業	 <p>順調である</p>	<p>☆「県食材の国内外への販路拡大」については期待どおりの成果をあげており、新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、産地・実需者とのきめ細かな情報交換を行うとともに、オンライン商談会の実施等とおした販路拡大に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■県の支援により成約した農産物の市場外商談件数 325件 (期待値 300件)</p> <p>☆「美しく元気な農山漁村の創生」の取組については期待どおりの成果をあげており、今後とも、鳥獣による農作物被害防止対策に取り組む体制を強化するとともに、農山漁村の地域資源を活用した地域活性化等に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■野生鳥獣による農作物被害金額 [2018] 469百万円 (期待値 528百万円)</p> <p>その他主な取組成果(2019年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■茨城かんしょトップランナー産地拡大事業による生産面積の拡大：111ha ■常陸牛のマーケティング調査を実施：米国内3都市 ■茨城モデル水稲メガファーム育成事業による集積・集約化：4経営体の経営面積215ha (2018年比+41ha) ■農業参入等支援センターによる支援：法人化18件 (2018年比+9件)、企業参入5件 (2018年比+2件) ■民有林の森林経営集約化：7,737ha (+5,437ha) ■沿岸漁業者への個別相談等による法人化支援：法人経営体数10 (2018年比+1経営体) ■沿岸漁業者への設備更新等の助成による経営規模拡大支援：漁労収入1億円以上経営体数6 (2018年比+1経営体)
4多様な働き方	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「移住・二地域居住の推進」については期待どおりの成果をあげており、今後は新型コロナウイルス感染症の影響により、東京圏から地方への移住のニーズが高まることが予想されるため、この機会を捉え、積極的なPR等に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■地域や地域の人々と多様に関わる「関係人口」数 18,762人 (新型コロナウイルス感染症の影響を控除した実績 18,473人/期待値 18,437人)</p> <p>★中小企業における「ワーク・ライフ・バランスの実現」については引き続き強力な取組が求められ、今後とも、働き方改革のモデルケースの動画配信などにより企業への普及啓発を図るとともに、テレワークや時差出勤など柔軟な働き方による業務効率化の推進に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■県内中小企業における年次有給休暇取得率 [2018] 55.53% (2016年から+3.78ポイント改善するも、期待値[59.31%]には未到達)</p> <p>■県内企業の1ヶ月あたり所定外労働時間数 11.4時間 (2017年から△0.14時間改善するも、期待値[10.0時間]には未到達)</p> <p>その他主な取組成果(2019年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■働き方改革優良(推進)認定企業数【新規】：33社 ■「いばらき女性活躍推進会議」会員企業数：608社 (+43社)、茨城県女性リーダー登用先進企業表彰【新規】：4社 ■大学のUターンセミナー等での就職相談：52校、629名 (+2校、+18名)
5かけがえない自然環境の保全・再生	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「湖沼の水質浄化～泳げる霞ヶ浦を目指して～」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、高度処理型合併浄化槽の設置支援や下水道・農業集落排水施設への接続支援などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■霞ヶ浦におけるCOD濃度(平均値) 6.9mg/L (期待値 7.2mg/L)</p> <p>★「循環型社会づくり」については引き続き強力な取組が求められ、ごみ排出抑制に関する県民意識の啓発や、事業者や団体と連携した3R(リデュース(排出抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用))の取組を継続するとともに、不法投棄の防止に向けて取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■1人1日あたりのごみ排出量 [2018] 990g (期待値 951g)</p> <p>その他主な取組成果(2019年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■霞ヶ浦等の水質浄化 <ul style="list-style-type: none"> ・下水道・農業集落排水施設の接続支援補助件数：1,006件 (+622件) ・霞ヶ浦流域における高度処理型浄化槽設置補助件数：1,210基 (+9基) ・霞ヶ浦流域における小規模事業所立入検査件数：727件 (+407件) ■不法投棄の監視強化 不法投棄防止監視協定締結団体数：51団体2企業 (+13団体)

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。(括弧内に記載の増減に係る数値は、原則として基準年である2017年との比較)

II 「新しい安心安全」へのチャレンジ 1/2

【構成する政策の進捗状況】 「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3区分で整理

政策名	進捗状況	分析・対応
6 県民の命を守る地域医療・福祉	 成果をあげつつある	<p>☆「医療・福祉人材確保対策」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、特定看護師の活用促進に向けた啓発や、福祉現場における、外国人やシニア層など多様な人材の参入促進などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■特定看護師数 [2018] 63人 (期待値 60人) ■介護職員数 [2018] 38,533人 (期待値 38,444人)</p> <p>★「がん対策」については引き続き強力な取組が求められ、今後とも、住民のがんに対する意識啓発など、がん検診の受診率の向上等に向け取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■がん検診受診率 [2019] 46.4% (2016から1.5ポイント増加するも、期待値[50.0]には未到達)</p> <p>その他主な取組成果(2019年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■看護師等修学資金貸付: 新規116名 ■ドクターヘリの運航: 出動804件 (+76件)、他県連携393件 (+28件)、防災ヘリ補完的運航【新規】32件 ■遠隔医療の推進 画像診断補助システム導入: 県西地域 7箇所、鹿行地域 5箇所 ■がん対策 ・がん検診推進のための活動をする予防推進員の養成: 8,496名 (+147名) ・ウィッグの購入費助成: 651件 ・乳房補正具購入費補助: 128件 ■自殺予防ゲートキーパー養成研修: 75回 (+34回)
7 健康長寿日本一	 順調である	<p>☆「在宅医療・介護の支援」については期待どおりの成果をあげており、今後は新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、保健・医療・福祉のサービスが適切に提供できるよう、オンライン等による診療の推進などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■訪問診療を実施している診療所・病院数 [2017] 401箇所 (期待値 396箇所)</p> <p>☆「地域包括ケアシステムの構築」についても期待どおりの成果をあげており、今後とも、地域の医療・介護関係者など多職種協働による支援の推進等に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■地域ケア会議における困難事例の支援開始割合 90.0% (期待値 83.1%)</p> <p>その他主な取組成果(2019年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■在宅医療に取り組む医療機関の連携 30グループ (+18グループ) ・ 140医療機関 (+77医療機関) ■在宅訪問を実施している薬局数 476箇所 (+25箇所) ■認知症サポーター養成人数 267,261人 (期待値 256,000人)
8 障害のある人も暮らしやすい社会	 成果をあげつつある	<p>☆「特別支援教育等の充実」の取組については期待どおりの成果をあげており、今後とも、特別支援教育巡回相談や職務に応じた研修会を実施するなど、障害児の就園・就学体制の整備に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■障害児に対する個別の教育支援計画作成率(公立幼稚園) 85.1% (期待値 73.9%)</p> <p>★「障害者の自立と社会参加の促進」については引き続き強力な取組が求められ、今後とも、市町村・医療機関・福祉サービス事業者等との連携を強化するなど、障害者が地域社会で安心して生活できる体制づくりに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■精神病床に在院期間1年以上の長期在院する精神障害者数 3,758人 (2017から147人減少するも、期待値[3,445人]には未到達)</p> <p>その他主な取組成果(2019年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■幼児教育施設、小・中学校、高等学校等への支援 ・特別支援学校の教員による巡回相談: 6,449件 ・大学教授等の専門家の派遣: 385回 ■民間企業における障害者雇用率: 2.14% (+0.17ポイント) ■手話言語の普及啓発【新規】 ・フォーラムの開催 1回 200名 ・スキルアップ講座の開催 3会場 61名 ■障害者委託職業訓練就職率: 75.0% (全国 48.8%)

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。(括弧内に記載の増減に係る数値は、原則として基準年である2017年との比較)

II 「新しい安心安全」へのチャレンジ 2/2

【構成する政策の進捗状況】 「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3区分で整理

政策名	進捗状況	分析・対応
9 安心して暮らせる社会	 成果をあげつつある	<p>☆「交通安全対策の推進」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、交通事故の実態等を踏まえた効果的な交通安全対策を推進するとともに、歩行者が安心できる交通の確保、妨害運転・飲酒運転等を行う悪質・危険な運転者の排除等、総合的な交通安全対策に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■交通事故死者数 107人 (期待値 120 人以下)</p> <p>★「地域の力を高めるコミュニティづくり」の取組については引き続き強力な取組が求められ、今後とも、NPO 法人をはじめとしたコミュニティ運動を実施する団体等の活性化をはかるとともに、自助、互助、共助、公助による持続可能な地域コミュニティの形成に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■NPO 法人認証件数 (経年累計) 845件 (2017 から 7 件増加するも、期待値[910 件] には未到達)</p> <p>その他主な取組成果 (2019年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■コミュニティ交通 (コミュニティバス・乗合タクシー) の利用者数：312万人 (新型コロナウイルス感染症の影響を控除した実績 292 万人/期待値 293 万人) ■食に対する不安を感じない県民の割合：50.8% (期待値 45%) ■人身交通事故発生件数：7,447件 (1966 年以降最少) ■水道普及率：[2018]94.6% (2016 年度比+0.3 ポイント) ■汚水処理人口普及率：85.6% (+1.6 ポイント増加)
10 災害に強い県土	 成果をあげつつある	<p>☆「治山治水対策の強化」については期待どおりの成果をあげており、今後とも国や関係機関等と連携しながら整備推進に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■河川改修率 57.9% (期待値 57.9%) ■土砂災害防止施設の整備率 24.4% (期待値 24.3%)</p> <p>★「地域の防災活動への支援・充実」の取組については引き続き強力な取組が求められ、今後とも自主防災組織の活動カバー率向上に向けて、地域コミュニティの活性化など、市町村が抱える課題に応じた解決策の提案や、消防団員が活動しやすい環境整備とともに、消防団への加入促進などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■自主防災組織の活動カバー率 83.4% (2017 から +2.6 ポイント改善するも、期待値 [88.7%] には未到達) ■消防団員数の充足率 88.5% (期待値 93.7%)</p> <p>その他主な取組成果 (2019年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■住民の避難力強化：治水優先度の高い地域におけるマイ・タイムライン等の作成支援を実施 (R 元年度 17 市町で実施) ■令和元年東日本台風の被害に対するスピード感をもった対応：災害発生から約 1 カ月程度で補正予算を計上 ■市町村の BCP 策定率：100% (期待値 86.4%) ■市町村の国民保護に係る避難実施要領の複数パターン作成率：77.3% (+15.9 ポイント)

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。(括弧内に記載の増減に係る数値は、原則として基準年である 2017 年との比較)

Ⅲ 「新しい人財育成」へのチャレンジ 1/2

【構成する政策の進捗状況】 「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3区分で整理

政策名	進捗状況	分析・対応
11 次世代を担う「人財」	 順調である	☆「『知・徳・体』バランスのとれた教育の推進」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、モデルとなる授業の公開や配信により授業改善を進めるとともに、茨城国体・障害者スポーツ大会で培ったノウハウを活かした競技力の向上などに取り組んでいく。 【主要指標等】 ■国語の授業理解度 80.6% (期待値 80%) ■全国高等学校総合体育大会等での優勝数 5種目 (新型コロナウイルス感染症の影響を控除した実績 4種目/期待値3種目) ☆「キャリア教育による将来の目標づくり」の取組についても期待どおりの成果をあげており、今後とも、児童生徒の発達段階に応じた課題解決型学習やキャリアパスポートの活用など、将来のキャリア形成に資する教育に取り組んでいく。 【主要指標等】 ■県立高等学校におけるキャリアノートの活用率 35.4% (期待値 30%) その他主な取組成果(2019年度) ■IBARAKI ドリーム・パス事業【新規】 ・応募企画数: 25件 ■デュアルシステム実施校数・参加人数: 14校、222人 ■ジュニア技能インターンシップの実施: 18校、167人 (+2校、+63人) ■次世代グローバルリーダーの育成 ・英語力の高い中高生: 80人 ■プログラミングエキスパートの育成 ・中高生トップ層育成研修参加者: 40人 ・基礎学習支援参加者: 2,182人 ■ワンストップ就職支援サービス: 就職決定者数1,377人 (+158人) ■いばらきっ子郷土検定参加者数: 約23,000人(中学2年生) ■訪問型家庭教育支援の実施: 17市町村 (+5市町村)
12 魅力ある教育環境	 順調である	☆「ICT教育先進県の実現」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、キャリアステージに応じた教員研修や中高一貫教育校における特色ある教育などに取り組んでいく。 【主要指標等】 ■ICTを活用できる生徒の割合(県立高校) 76.1% (期待値 40%) ☆「新たなニーズに対応した大学等の誘致や官学連携の推進」についても期待どおりの成果をあげており、今後とも、大学等と連携した特色ある教育カリキュラムの設置など、魅力的な教育環境の創出に取り組んでいく。 【主要指標等】 ■特色ある教育カリキュラムの導入について検討する大学数 1校 (期待値[1校]) その他主な取組成果(2019年度) ■県立学校コンピューター整備台数 ・高校 98校、11,179台 (+114台、5.2人/台)、特別支援学校 23校、1,087台 (+77台、3.6人/台)、普通教室 LAN 整備室 100%(120校) ■中高一貫教育校設置: 2022年度までに 10校 (県立高等学校改革プランH31.2策定) ■県内5大学等連携(いばらき創業10,000社プロジェクト) ・ビジネスプランコンテスト 1回 ・起業セミナー 27回
13 日本一、子どもを産み育てやすい県	 成果をあげつつある	☆「安心して子どもを育てられる社会づくり」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、市町村と連携した放課後児童クラブの整備や、放課後児童支援員の確保などに取り組んでいく。 【主要指標等】 ■放課後児童クラブの実施箇所数 1,020箇所 (期待値 1,018箇所) ★「困難を抱える子どもへの支援」の取組については引き続き強力な取組が求められ、今後とも、母子家庭の経済的自立の促進に向けたきめ細かな就労支援や、生活困窮世帯の子どもに対する学び直しの機会の提供等の学習支援に取り組んでいく。 【主要指標等】 ■母子家庭等就業・自立支援センターの職業紹介による就職件数 19件 (2017から2件増加するも、期待値[40件]には未到達) その他主な取組成果(2019年度) ■いばらき出会いサポートセンターの運営 ・県民からの結婚相談 439人 ・成婚 125組 ■放課後児童支援員資格認定研修: 3,094人 (+1,369人) ■家庭的保育(保育ママ) 事業参入セミナー等の開催【新規】 ■第3子以降の3歳未満児に係る保育料の完全無償化 (H31.4~)

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。(括弧内に記載の増減に係る数値は、原則として基準年である2017年との比較)

Ⅲ 「新しい人財育成」へのチャレンジ 2/2

【構成する政策の進捗状況】 「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3区分で整理

政策名	進捗状況	分析・対応
14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城	 順調である	<p>☆「心豊かにする文化・芸術」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、県近代美術館など県立施設の魅力向上や利用の促進などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■県が提供する文化の鑑賞等の機会への参加者数 1,007千人 (新型コロナウイルス感染症の影響を控除した実績 971千人/期待値 968千人)</p> <p>☆「遊びある楽しい生活スタイル」についても期待どおりの成果をあげており、今後とも、本県の豊かな自然を活かしたアウトドア・スポーツアクティビティ環境の整備を進めるとともに、都市公園のさらなる魅力向上に向けた民間活力の導入などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■都市計画区域人口1人あたり都市公園面積 9.87m²/人 (期待値 9.74m²/人)</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>その他主な取組成果(2019年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■いばらきeスポーツアカデミーの開催【新規】 2回 (水戸市、つくば市) ■総合型地域スポーツクラブ ・クラブ設置率：84.1% ・クラブ数：51 (+1クラブ) ■生涯スポーツ指導員認定者数：81名 (+51名) ■スポーツリーダーバンク登録者数：54名 (+35名) </div>
15 人権を尊重し、多様性を認め合う社会	 順調である	<p>☆「誰もが能力を發揮できる社会づくり」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、男女共同参画社会の実現や外国人にとって住み続けたいと感じられるような生活環境づくりなどに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■多文化共生サポーターバンクへの新規登録者数 843人 (期待値 600人)</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>その他主な取組成果(2019年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■いばらきパートナーシップ宣誓制度の創設 (R1.7) ■外国人相談センターでの相談件数：1,582件 (日本語を含む10言語で対応) ■日本語教育アドバイザー派遣による地域日本語教室のボランティア養成講座の実施：登録アドバイザー18名・派遣先8団体、講座参加者246名 ■スクールカウンセラー：全公立小中学校配置 ■スクールソーシャルワーカー派遣：小中学校95校、753回 (+17校、+216回) ■スクールロイヤー派遣回数：小中学校等へ25回 (+12回) ■人権相談：55件 (+5件) ■ヒューマンライツセミナー：121人受講 (+21人) ■人権教育指導者研修会：3回、183人受講 </div>

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。(括弧内に記載の増減に係る数値は、原則として基準年である2017年との比較)

IV 「新しい夢・希望」へのチャレンジ 1/2

【構成する政策の進捗状況】 「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3区分で整理

政策名	進捗状況	分析・対応
16 魅力度 No.1 プロジェクト	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「魅力発信国内戦略」については期待どおりの成果をあげているが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、県内への取材誘致が困難になっていることから、プレゼントパブリシティの実施等のメディア露出対策などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■本県情報のメディアへの掲載による広告換算額 123億円 (期待値 98億円)</p> <p>★「県民総「茨城大好き！」計画」の取組については引き続き強力な取組が求められ、若年層に向けた郷土教育を推進するとともに、ターゲット層ごとにアプローチを変えるなど効果的な広報に取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■茨城県に「愛着を持つ」県民の割合 77.5% (期待値 86.0%)</p> <p>その他主な取組成果(2019年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■常陸牛等の知事トップセールス(米国[ニューヨーク] など) ■いばキラTV 動画視聴回数：3,025万回 (+376万回) ■茨城県公式 Twitter のフォロワー数：131,160人 (+8,460人) ■県政世論調査による広報媒体の中の「ひばり」の接触率：67.5%
17 世界に飛躍する茨城へ	 <p>順調である</p>	<p>☆「世界に広がるメイドインIBARAKI」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、産地・消費者のニーズを適切に把握していくとともに、新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、オンラインを活用した商談会の実施・参加などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■県の支援により成約した輸出商談件数 94件 (期待値 50件)</p> <p>☆「茨城シリコンバレー構想」についても期待どおりの成果をあげており、今後とも、企業や大学・研究機関、産業支援機関、金融機関等と連携し、新たな成長産業の創造やイノベーション拠点の形成などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■1億円以上の資金調達をしたベンチャー企業数(経年累計) 9件 (期待値 6件)</p> <p>その他主な取組成果(2019年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■東南アジア等での青果物のプロモーション事業の取組強化：5カ国 (2018年度比+1カ国) ■米国における常陸牛のプロモーション実施：商談会5回、茨城フェア開催1回 ■農産物の輸出額：643百万円 (+118%) ■国際会議等誘致及び相談・開催支援件数：38件 ■つくば創業プラザ分室の開設 (R元.12) ■ベンチャー創業数：19社 ■ベンチャー企業に対する賃料補助：15件活用
18 ビジット茨城～新観光創生～	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「旺盛なインバウンドの取込み」については期待どおりの成果をあげており、新型コロナウイルスの感染拡大の影響下にあっても、外国人観光客の受入環境整備や滞在・体験型コンテンツの磨き上げ、デジタルマーケティングなどに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■海外からの観光ツアー催行数 3,360ツアー (新型コロナウイルス感染症の影響を控除した実績 3,259ツアー/期待値 3,000ツアー)</p> <p>★「新茨城リゾート構想」の取組については引き続き強力な取組が求められ、新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、いばらきアマビエちゃんの活用をはじめとした徹底した感染防止対策を図りながら、魅力ある観光地域づくりに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■宿泊観光入込客数 491万人 (期待値 746万人)</p> <p>その他主な取組成果(2019年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■茨城空港旅客数：776千人 (+16千人/過去最高数) ■定期便の拡充：神戸便増便、西安便新規就航 ■チャーター便の誘致：国際線148便、国内線80便 (+46便) ■外国クルーズ船の寄港決定 H31.4に本県初寄港 ■Zekkei フォトコンテスト：投稿数1,489件 (+213件) ■筑波山霞ヶ浦での土産品等の開発【新規】：5件 ■本県のロケ支援：515作品 ■ロケによる経済波及効果推計：5.1億円 (+0.7億円) ■宿泊施設立地促進事業の認定【新規】：1件 ■つくば霞ヶ浦りんりんロード：利用者9.3万人 (+170%) ■広域レンタサイクル貸出：3,115台 (+190%)

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。(括弧内に記載の増減に係る数値は、原則として基準年である2017年との比較)

IV 「新しい夢・希望」へのチャレンジ 2/2

【構成する政策の進捗状況】 「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3区分で整理

政策名	進捗状況	分析・対応
19 茨城国体 ・障害者 スポーツ 大会、 東京オリ ンピック ・パラリ ンピック の成功	 順調で ある	<p>☆国体・障害者スポーツ大会については、「県民総参加の機運醸成」や「大規模スポーツイベントを契機とした魅力発信」について期待どおりの成果をあげるとともに、第74回国民体育大会における男女総合成績（天皇杯順位）が1位となり、目標を達成した。また、国体史上初となるeスポーツ大会「全国都道府県対抗eスポーツ選手権2019 IBARAKI」の開催により、全国的に注目される大会となった。</p> <p>【主要指標等】 ■第74回国民体育大会における男女総合成績（天皇杯順位）：1位（目標値 1位） ■運営ボランティア従事者数（国体）：6,723人（目標値 延べ5,200人） ■第74回国民体育大会文化プログラム登録事業数：414事業（目標値 100事業）</p> <p>その他主な取組成果（2019年度） ■国体の成功 ・全国トップレベルの指導者招聘：21競技、延べ324回 ・優秀な選手の獲得：55名 ■オリンピック・パラリンピックの成功 ・茨城県都市ボランティア共通研修の実施：延べ1,565人参加 ・オリンピック聖火ランナー：応募者数3,174人（公募人数34人） ・事前キャンプ視察：18件（+8件 モンゴル、台湾、ロシア等） ・事前キャンプ受け入れ：17件（+15件 ベルギー、スイス、アルゼンチン等）</p>
20 活力を生 むインフ ラと住み 続けたく なるまち	 順調で ある	<p>☆「未来の交通ネットワークの整備」については期待どおりの成果をあげており、今後とも東関東水戸線の全線開通・圏央道4車線化・スマートICの整備促進に向けた要望、県管理道路の確実な整備などに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■県管理道路の改良率 [2018] 76.8%（期待値 75.9%）</p> <p>☆「魅力あるまちづくり」の取組についても期待どおりの成果をあげており、今後とも市町村等と連携しながら、プロスポーツや芸術、地域のもつ文化・歴史的資源あるいは恵まれた自然環境などを活かした地域づくりに取り組んでいく。</p> <p>【主要指標等】 ■都市計画区域人口1人あたり都市公園面積 [2018] 9.87㎡（期待値 9.74㎡）</p> <p>その他主な取組成果（2019年度） ■都市公園の整備：県営1公園（北浦川緑地0.9ha）ほか市町村営公園開園（ひたちなか市、つくば市、鹿嶋市等） ■定期コンテナ航路の新規開設：3航路 ■常陸那珂港区：コンテナ貨物取扱量(44,081TEU 過去最高) ■カシマサッカースタジアムの計画的な修繕など観戦環境整備や、フィットネスクラブの運営など日常的な賑わい創出</p>

※数値目標の達成状況を踏まえ、「☆」は、期待どおりの成果をあげている施策等について、「★」は、引き続き強力な取組が求められる施策等について記載しています。

※「その他主な取組成果」については、各政策における取組について、説明文以外の主な実績を記載しています。（括弧内に記載の増減に係る数値は、原則として基準年である2017年との比較）